　　　　　　　　セレクターを理解しよう

ここではセレクターについて説明をします。

セレクターは大きく分けて四つあります。

1要素クラスIDによるセレクター

2属性によるセレクター

3疑似クラスおよび疑似要素によるセレクター

4タイプセレクター(div p header,, ete) htmlの要素を直接してスタイリングする方法

例えば、h1 P{

Color:pink;

}

このようにh1とpの中にスペースを入れて指定すると、h1とpどちらにもデザインが適応されます。

.test{

Color:pink;

}

クラスの指定は、

クラスを付けたところだけは、複数使える

<h1 class="big title" > のように複数クラスも設定できる

セレクタも組み合わせる

.title.big{

}

titleかつbigのときに使える

idセレクタはほぼclassセレクタと同じ

クラスと違うところは#で始まるところ

idは基本的には一回しか使えない

ドキュメント内で一つしか指定できない

idの値に複数指定できない

class="big title"のようにできない

基本的には、詳細度が高くなってしまうので、clasを使うのが基本

ユニバーサルセレクタ

全てに影響を与えるセレクタ

\*{

color:red;

}

全ての要素が変わる

article \*{

color red

}

articleのすべの要素を変える

**全要素を指定する「\*（アスタリスク）」：ワイルドカード**

すべてのの要素に対してセレクタ指定する場合、\*{}のように指定する事で全要素をCSSの適用範囲とする事ができる！